

トキ舞ういしかわアクション

～トキが羽ばたくいしかわをめざして～



石川県は、本州で最後にトキが生息していた土地であることから、いしかわ動物園においてトキの飼育にとりくむとともに、動物園で生まれたトキを自然に帰す国のとりくみに協力しています。

トキの保護やトキを育む環境づくりの大切さをみんなが知り、行動(アクション)につなげることで、「トキが舞ういしかわ」の実現をめざします。

トキってどんなトリ?



顔は赤く、立派な冠羽

トキの特徴の一つが遠くからでも目立つ真っ赤な顔。後頭部の冠羽も長く立派です。

クチバシはセンサー

クチバシは先端まで神経が行き渡り、センサーのようになっていて、目で見なくても触れただけで、エサを探り当てることができます。



体長は75cmほど

大人のトキは体長およそ75cm。翼を広げた時の幅は140cmほどになります。体重は1.5～2kgです。

- 分類：ペリカン目トキ科トキ属
- 学名：Nipponia nippon (ニッポニア ニッポン)
- 特別天然記念物、国際保護鳥

トキ里山館フォトコンテスト
入賞作品「のんびり!ゆったり!!」

トキの食べ物

トキは田んぼや湿地を歩き回り、長いくちばしを泥の中にいれて、ドジョウ、カエル、タニシなどの小動物をとって食べます。

また、草地では、バッタやコオロギなどを上手につかまえて食べますが、植物はほとんど食べません。

一方、首や足が短いため、深い川や池に入って泳いでいる魚をとることは苦手です。

また、お米やトウモロコシなどの穀物は食べず、動物食です。





トキの羽の色の変化

トキは繁殖期が近づく2月頃、頭部から首にかけての部分から出る黒い液を体にぬりつけて灰色になります。このような方法で羽の色を変化させる鳥はトキだけで、巣で卵を抱くときなど、繁殖期に外敵から身を守るためと言われています。

秋には羽が抜け変わり、秋から冬が最も美しい「トキ色(うすいピンク色)」が目立ちます。トキはカニやザリガニから色素を体内に取り込むことで、「トキ色」の羽になります。



繁殖期を迎え、羽が灰色になったトキ



秋になり、羽がピンク色になったトキ

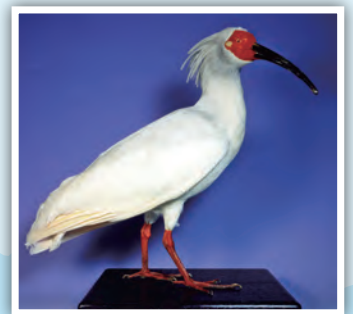
トキ里山館フォトコンテスト
最優秀賞受賞作品「滑空」



石川県とトキ

石川県とトキのつながりは深く、能登では昭和の初めころまで空を舞う姿がよく見られました。しかし、里山が荒れたことなどにより、その数は減り、1970年に穴水町で最後の1羽「能里」を保護し、新潟県の佐渡に移されたことで、本州からトキが姿を消しました。

石川県にトキが再び戻ってきたのは、40年後の2010年。鳥インフルエンザなどからトキを守るために、佐渡トキ保護センターで飼育していたトキのつがい2組を、いしかわ動物園に移送し、飼育が始まりました。



本州最後のトキ能里のはく製
(いしかわけんりつれましほくぶつかんしゅうそう
石川県立歴史博物館 収蔵)



トキが日本の空に戻るまで

本州最後のトキ「能里」と同じように、佐渡で野生のトキを保護し、繁殖にとりくみましたが、思うように進まず、日本産のトキは絶滅してしまいました。

1999年に中国から贈られたトキによる繁殖に初めて成功し、その後、飼育しているトキの数がふえたことで、国は、2003年からトキを自然に帰すととりくみをスタートしました。

佐渡では、自然環境を再生するととりくみが続けられ、2008年、トキが佐渡で放鳥されました。現在、400羽をこえるトキが野生で生息し、石川県にも、たびたび飛来しています。



佐渡での野生放鳥の様子
(環境省提供)



いしかわ動物園でのトキ飼育

トキを鳥インフルエンザなどから守るため、佐渡以外にも全国4か所（東京都、石川県、出雲市、長岡市）でトキの飼育がおこなわれています。

いしかわ動物園でのトキを守るとりくみを見てみよう。

ペア形成(12月ごろ)



繁殖のためにペアを形成します

求愛・巣づくり(3月ごろ)



くちばしを絡ませ合い異性を引きつけるための行動をとります

交尾・産卵(4月ごろ)



交尾から1週間～10日間ほどで産卵します

ふ化(5月ごろ)



オスとメスが交代で卵を温め、約28日でふ化します

子育て(ふ化から1ヶ月半)



オスとメスが協力しながらヒナにエサを与えます

巣立ち(6月ごろ)



ふ化から約40日で巣立ちします

佐渡に移送(10月ごろ)



佐渡で野生で生きていくための訓練を受けた後、放鳥されます



環境省提供

佐渡では多くのトキが舞っています



「トキ里山館」へトキを見にいこう!

2016年、いしかわ動物園に「トキ里山館」がオープンしました。本物のトキを見て、楽しみながらトキについて学ぼう!

ポイント①

トキの姿を見よう

広く開放的な空間を舞うトキの姿などを観察

学習展示コーナー

トキのクチバシや足などをほかの鳥と比べたり、本物の羽根を触ったりしながらトキのことを学べる

ポイント②

トキの食事の様子

エサをついばむトキを間近に観察

ポイント③

トキの暮らしを知ろう

棚田風の湿地や樹木など、里山を再現した環境の中で、トキが暮らす姿を観察

ポイント④

トキのフィールド観察

のぞき窓から、止まり木で休むトキを間近に観察

【トキのアスレチック】 階層1: 3箇所、②: 2箇所、③: 1箇所、④: 1箇所、⑤: 4箇所、⑥: 5箇所



トキを育む環境をめざして

トキは、田んぼや水路などでエサをとり、集落近くの森や林で巣をつくるなど、里山をすみかとする鳥で、たくさんの生きものが生息する豊かな里山がないと生きていくことができません。

トキが人といっしょに暮らし続けるために必要な環境について、みんなで考えてみよう。

生きもの豊かな田んぼ

トキは田んぼや湿地などの水辺で、ドジョウやカエルなどの小さな生きものを食べます

トキを見守る環境づくり

野生のトキを見かけたらトキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう

健全な森林環境

トキは山間地の高い木(スギやマツなど)をめぐらにします



トキ舞ういしかわアクションにとりくもう!

トキがすむことができる環境をめざして、身近な“アクション”にとりくもう!

このシートを読んで、家族や友だちなどまわりの人にトキの知識をひろめる

トキの本を読んだり、インターネットを使用して、トキについてもっとしらべる

トキのえさ場である田んぼを守るため、石川県で作られたお米をたべる

いしかわ動物園や佐渡へ行き、本物のトキやトキがすむ環境を見て理解をふかめる

生きもの調査や自然観察会に参加して、トキを育む環境にふれる

トキが舞う石川の里山(イメージ)

トキクイズにチャレンジ!

トキのことがわかってきたかな? トキクイズに挑戦して、さらにトキに詳しくなろう! めざせトキ博士!

問題1 トキの羽の色をあらわす言葉は?

- ①しゅ色 ②黄色 ③とき色



わからない問題があったらこのシートを復習しよう!

問題2 トキの食べ物は?

- ①お米 ②ドジョウ ③チョコレート

問題3 本州で最後に残ったトキに付けられた名前は?

- ①能里(のり) ②能登(のと) ③朱里(あかり)

問題4 トキが気に入った相手に対してとる行動は?

- ①くちばしを絡ませ合う ②一緒におどる ③見つめ合う



問題5 トキを守るにはどのような環境を保全していけばよい?

- ①田んぼだけ ②森だけ ③里山全体